

(様式第 4 号)

第 9 回 武石地域協議会 会議概要

1 審 議 会 名	武石地域協議会
2 日 時	令和 5 年 12 月 20 日 午後 7 時から午後 7 時 50 分まで
3 会 場	武石地域自治センター3 階 大会議室
4 出 席 者	金井委員、金子委員、坂上委員、川合委員、小坂委員、児玉（守）委員、 小山委員、近藤委員、桜井委員、城下委員、立岩委員、吉田委員、 廣川委員、堀委員、橋詰委員 【欠席委員 5 名】
5 市側出席者	酒井武石地域自治センター長、樋口地域振興課長、白鳥市民サービス課長、 岩下産業観光課長、若林武石地域教育事務所長、杉浦丸子・武石上下水道課長、 下村産業観光課長補佐兼商工観光担当係長 鈴木地域担当、岩井地域政策担当主査
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	0 人 記者 0 人
8 会議概要作成年月日	令和 5 年 12 月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会（副会長）

2 あいさつ（会長、センター長）

（会 長）この一年間いろいろと協議いただいたが、うまくいった部分、課題の残った部分と色分けされたと思う。本日も忌憚のないご意見をいただきたい。

（センター長）この冬は暖冬といわれており、来週 29 日に番所ヶ原スキー場のオープンが迫っているが心配な部分もある。今回レストハウスをリニューアルしオープンするので、皆様お出かけいただきたい。

3 報告事項

（1）武石温泉「うつくしの湯」における意見募集の結果について【資料 1】（商工観光担当係長説明）

【質疑等】

（委 員）1 カ月の募集期間で 4 件だけという状況をどう捉えているのか。

（商工観光担当係長）思っていたよりも少なかった。武石地域内の方からの意見がなかったことが意外であった。

（委 員）意見募集の趣旨の中の「長寿命化を目的とした施設改修の必要性が高まってきた。」と思っているのは、自治センターの担当だけ。住民から見たときに、うつくしの湯をこれからどうしたいということが地元の切なる思いなのかな？とこのアンケートだけでは感じる。

長寿命化を目的とした施設改修の必要があるということを前面に出して、改めてアンケートの方法が悪かったのか、周知の方法が悪かったのか。前回の雲溪荘の際に部会があったが、地域協議会の中で部会を開いてどのようにして地域住民の意見を吸い上げるとか、意見を集約するといったことをやっていかないと雲溪荘と同じ運命を辿ってしまう。現実には 24 年経過し、存続させるには改修が必要ということは誰でもわかる。地域住民から見たときにこれからはもっとうつくしの湯を使っていきたいといった意見があるはずなのに、現実には武石地域から意見が出てこない。そうすると、アンケートの方法が悪いのか、地域住民もしくは利用者からの吸い上げがなかったのか、これから考えていく大事な資料になっていくと思われる。これからある部会等を立ち上げて、いろいろな意見を吸い上げて、アンケートの仕方を工夫して地域住民に対して、上田市なのか、武石なのか、口頭で実施するなどしないと地域住民の意見を吸い上げるという点ではなかなか難しい方法かと思った。今後、この資料を基にして考えていけばよいと思う。

(商工観光担当係長) 今後の改修工事を行う上では多額の費用が掛かり、老朽化に伴う必要な工事と温泉施設在り方検討部会で意見があった宴会需要の部分は最低限必要と考えている。今回の意見募集についてはプラスαとして将来的に充実した施設運営を図る目的で地域や利用者から意見募集をしたということで御理解いただきたい。

(会 長) 工夫できる部分は意見を吸い上げるという意味で作戦を練ってもらえる部分があればお願いしたい。

4 協議事項

(1) 第7回地域協議会協議内容の確認について【事前資料 1】(事務局説明)

・委員からの意見、質問なし

(2) 令和6年度 当初予算における基金充当予定事業について【資料 2】

(地域振興課長・教育事務所長・産業観光課長説明)

【質疑等】

(委 員) 今年度、武石地域内でマルシェが2回、仮装大賞が行われている。どちらも参加者も多かった。近隣の吹奏楽の団体を呼んで実施しているのでそちらにも援助しても良いのではないかと。

(会 長) 市の事業ということなので、そこは慎重に考えないといけないと思う。ともしびの里駅伝は市の事業として予算も盛り込まれている事業であるが、仮装大賞、マルシェは別の話かと思われるが。

(地域振興課長) マルシェや仮装大賞は市の事業としてやっていることではなく、主催者側が場所を貸してほしいというところで実施しているものであり、金銭面での相談もないため基金からの支出は考えていない。

(会 長) 実際の事業の予算確定は市議会となる。いろいろな部分に働きかけしていただく形かと思う。

また、ともしびの里駅伝のゲスト出演料について、具体的な話しがあるのか、35回で無理して呼ばなくても良いのではないかと。

(武石教育事務所長) 先ほど25回と30回時のゲストランナーについて説明したが、25回から30回までは29回を除き毎回呼んでおり、その後は節目で呼ぶという方針が実行委員会の方で出され、30回で予定していたが、災害で中止となった。それ以来の35回でゲストランナーを呼びたいという意向がある。また、参加チームがコロナ明けで伸び悩んでおり、予算の中で検討して、ゲストランナーを呼んで参加者の増加につながればと実行委員会では考えている

(委 員) 遊休農地利用資材費とは具体的に何を指しているのか。

(産業観光課長) 自治センターで草刈り機等を所持しており、直営で草刈等を行う場合があり、その際の草刈り機自体のオイル、燃料等消耗品を指している。

(会 長) 作業費ではなく資材だけだと分かった。そのとき、遊休荒廃農地再活性化事業というのであれば具体的にこの土地をこのように変えていくという形でやっていただきたい。

また、武石地域全域公園化構想事業の中で自走式樹木破砕機などの機器に係る維持管理費及び運営費等となっているが、新しい機器を購入するというわけではないのか。

(産業観光課長) その通りです。

(委 員) 自治会で竹林の伐採で自走式樹木破砕機を使用したことがある。環境美化という点で自走式樹木破砕機は効果がある。今までどのくらいの方が利用したのか。自走式樹木破砕機はかなり高額という話も聞いている。自治センターから担当者が来てオペレーターの代わりもやっている。市としてとても良いことをやっていると思うが、自治会が主体でやっているの年度当初に自治会の作業としてもっと利用してほしいと自治会長会等で説明してほしい。

(産業観光課長) 先般、12月の自治会長会においても説明し、新年1月の自治会長会においても紹介し、取り扱いの講習会を行うのでそこでもPRしていきたい。

(委 員) こういった器機を購入し、このように利用して、どんどん使ってほしいと勧めてほしい。

（会 長）再活性化事業について具体的な施策についても知恵を出してほしいという意見が出たが含めてお願いしたい。

（委 員）自走式破碎機について以前使用したが、雨が降ると使用できず、移動するには専用の車両に積み込み、オペレーターについても１年に一度のことで扱い方を忘れてしまい、使用しづらかったので、使いやすいように検討していただきたい。

（委 員）雨でも使えたし、機械の扱いもそんなに難しいことはない。ただし、ケガとか巻き込みとかには気を付けないといけないが、自治会長会で講義をしてもらい、後はオペレーターとすればよいのでは。

（産業観光課長）機械の扱いになるので、ケガがないようにということに重きを置いているが、１月の自治会長会の時に講習会を実施し、講習を受けた方が使うということで自治会へお願いしている。

（会 長）武石地域の景観を考えると雑草や雑木等を伐採していかないと美しい武石になっていかないと思われるので、大事な部分と考える。次年度に向けて活用できるように検討いただきたい。

5 その他

（１） 松くい虫防除 樹幹注入作業について

（地域振興課長説明）

期間：令和６年１月２２日（月）、２３日（火）

時間：午前９時～正午まで（予定）

（２） 第１０回 地域協議会の日程について

日時：令和６年１月１７日（水）午後７時～

場所：武石地域総合センター３階大会議室

6 閉 会（副会長）